

市民活動ライター講座 2021

新聞記者から学ぶ！「書く力・伝える力」実施報告書

令和3年3月10日
菊川市市民協働センター

I. 背景

自分の団体の活動を多くの人に知ってもらうために情報発信をしたくても、文章が上手く書けないという悩みを持つ人が多い。

II. 目的

- ・プロの新聞記者から、書く力、聴く力、伝える力を身に付ける方法を学ぶことで、地域の活動やまちづくりの情報を積極的に発信する人を増やす。
- ・参加者たちが市民への身近な情報の発信を充実させることで、菊川市の魅力を高めることにつながる。

III. 実施概要

開催日時	令和3年2月22日（月）18:30～20:30
会場	菊川市役所庁舎東館プラザきくる2階 多目的エリア
対象	・活動を人に伝わる、読みやすい文章で作成したい人 ・地域情報の発信に興味のある人 ・市民活動団体に、活動を魅力的に発信したい人
参加費	無料
受講者数	20名
主催	菊川市市民協働センター

IV. 講師紹介

株式会社静岡新聞社 掛川支局長 宮坂 武司 氏（みやさか たけし）

1978年三島市生まれ、千葉県佐倉市出身。静岡大学人文学部卒業、2002年静岡新聞

社入社。編集局社会部、松崎支局東部総局、御殿場支局、浜松総局、編集局社会部を経て2017年から掛川支局に勤務。

V. 講座内容

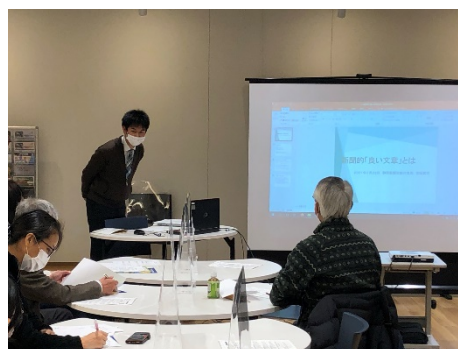
1) 新聞的「良い文章」とは

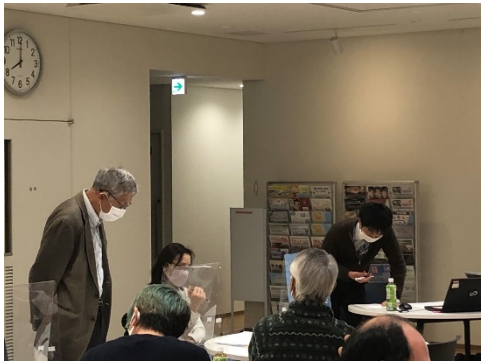
- 最も重視されるのは「見出しが付けやすい文章」であること。
 - ・何が重要か、何を一番に伝えたいか ⇒ それが「見出し」になる。
 - ✓「見出し」をつけにくい文章は視点が定まっていない。
 - ✓どんな「見出し」がつく文章か、意識しながら取材、構成する。
 - ✓「見出し」と内容が違うコンテンツは不誠実。
- 「10聞いて3書く」の教え
 - ・取材は「10分の10」を聞き出し、全貌を理解する。
 - ・何が重要か、何を伝えるべきか、自分で整理する。
 - ・一番重要なポイントが「見出し」になるよう、最初に、簡潔に。
 - ・「見出し」に関わる要素を中心に、前段に。
 - ・そのほかの要素は重要な順に続けていく。
 - ・「10」全部書くのは無理、厳選した「3」を紹介する感覚。
 - ・「予定の5割増し」を書いて削っていくと凝縮された文章に。
 - ・「これを書いて」と「自分の視点」の相克。

2) ワーク

- ・自治体が実際に提供したプレスリリースを題材に、見出しを付けて記事を書く。
- ・受講者自身が現在行っている活動や自己紹介を文章にまとめる。

[講座の風景]

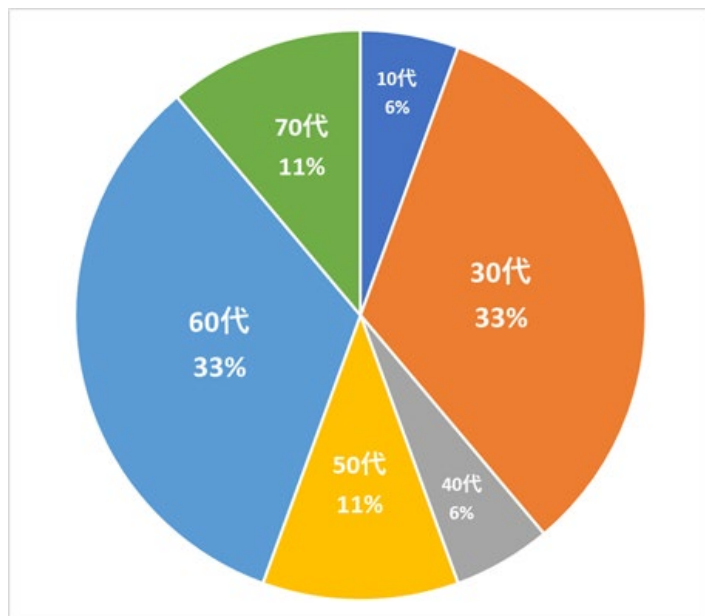




VI. 参加者アンケート結果

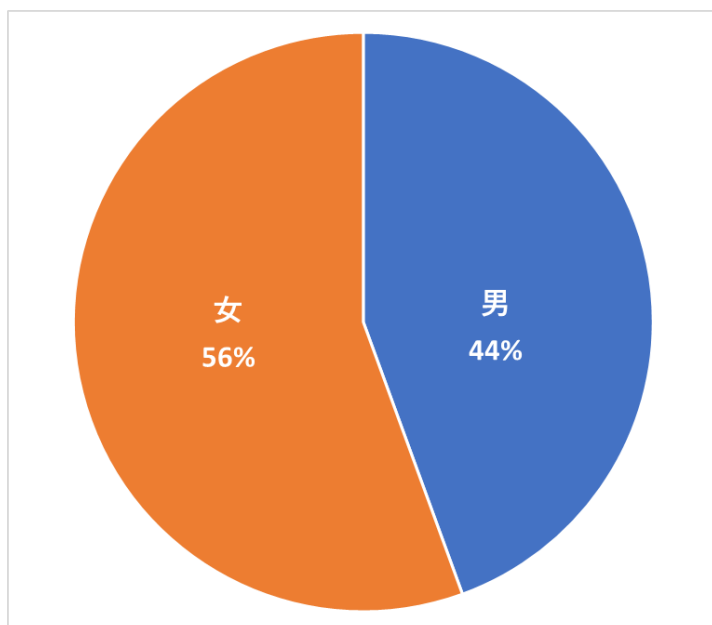
※回答者数 18 名（回答率 90.0%）

1) 年代



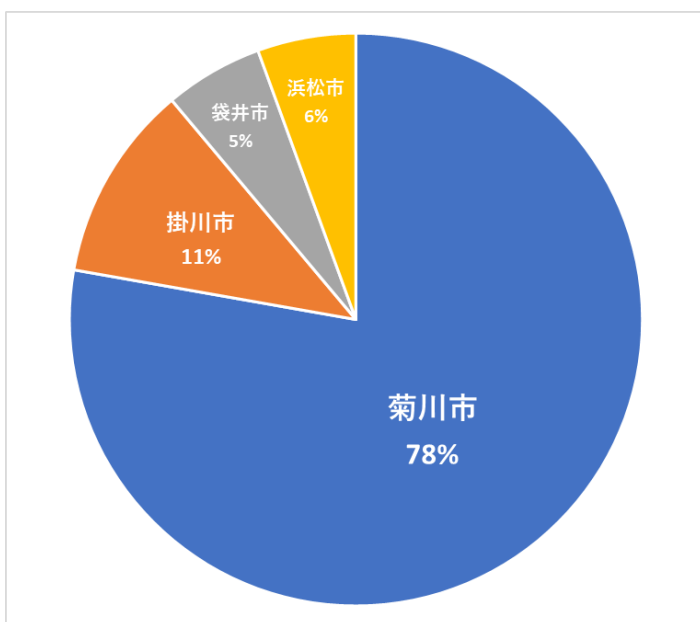
No.	年代	人数
1	10代	1
2	20代	0
3	30代	6
4	40代	1
5	50代	2
6	60代	6
7	70代	2
	合計	18

2) 性別



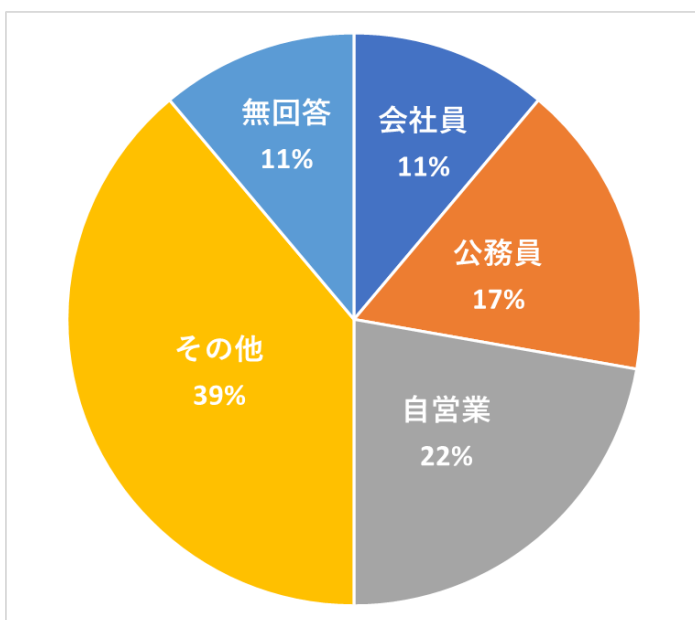
No.	性別	人数
1	男	8
2	女	10
	合計	18

3) お住まい



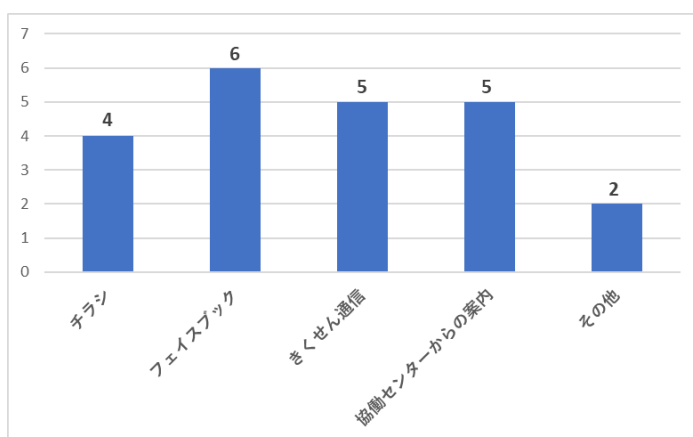
No.	お住まい	人数
1	菊川市	14
2	掛川市	2
3	袋井市	1
4	浜松市	1
	合計	18

4) ご職業



No.	ご職業	人数
1	会社員	2
2	公務員	3
3	自営業	4
4	その他	7
5	無回答	2
	合計	18

5) 本講座を何で知りましたか。(複数回答可)



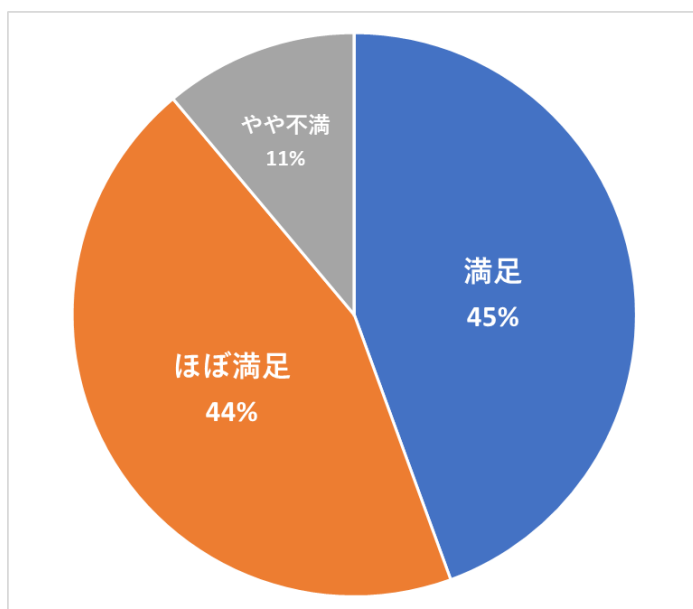
No.	情報元	人数
1	チラシ	4
2	フェイスブック	6
3	きくせん通信	5
4	協働センターからの案内	5
5	その他	2
	合計	22

6) 本講座を受講したきっかけや理由を教えてください。

- ・仕事柄、考察や所見、所感を書かなくてはいけないが、上手に書けない。伝える力をつけたかったのだ。
- ・仕事(茶農協)のホームページを作っているので、記事の書き方の勉強に来た。
- ・自治会で通信を作っているので、まとめ方の参考に。
- ・自治会役員をしていて、コロナ禍で集まることが困難な中、わかりやすい情報発信をしたいと考えたため。
- ・会報を作成しているので、参考になればと思い参加した。
- ・私自身もエッセイを書いていて「伝わる」ことをより意識したいと思ったから。
- ・Facebookで地域の魅力を発信したいと思っているが、うまい文章が書けないので、受講したいと思った。
- ・Facebook等で文章を発信する際に、わかりやすく伝わる文章を書きたいと思ったため。
- ・文章を書くとき、書きながら校正をしてしまい、いつまでも終わらない。メールやLINEで事務的なやりとりをするのが苦痛。文章嫌いを脱したい。
- ・自分に書いたり伝えたりする力が足りないと思っていたところ、こちらの講座を知り受講を申し込んだ。
- ・文章、記事が上手にかけるようになりたいため。
- ・文章をまとめるのが下手なので、まとめる力がほしかった。
- ・「文章力」の発信方法を参考にしたいと考えていた。
- ・正しい文章を作りたいため。
- ・文章をよく書くため。
- ・講座名が気になった。
- ・市役所から勧められて。

- ・静岡新聞の宮坂さんが講師だから。

7) 講座の感想はいかがでしたか。



No.	感想	人数
1	満足	8
2	ほぼ満足	8
3	やや不満	2
4	不満	0
	合計	18

● 「満足」と回答した理由。

- ・文章（記事）と見出しの関係。記者として記事を書くときに心がけていること等、とてもよくわかった。
- ・「10聞いて3書く」ことが心に残った。
- ・文章を書くコツをつかめたから。
- ・新聞記者さんからノウハウを教えていただく機会はなかなか無く、良い時間となった。見出しで目を引くと中も見たくなる。
- ・見出しと内容が違うコンテンツは不誠実との言葉。お人柄が素晴らしく、パワーポイントも全て持ち帰りたいほど情報が的確だった。
- ・宮坂さんが講座の中でも yes and, 「そうですね」と全て肯定から入ってくれて、新聞ならではの考え方がわかりやすく入ってきた。
- ・会場が悪い。大会議室でやるべき。次回は正しい文章作成を目的として「校正」担当を先生にお願いしたものを企画してほしい。本日の参加者に優先的に参加を勧め、案内をお願いしたい。

● 「ほぼ満足」と回答した理由。

- ・記者の方にお話しを聞くのは初めてだったので、大変おもしろかった。

- ・参考資料から新聞の記事を実際に書いてみるのは初めてのことで戸惑ったが、正解はないが自分が伝えたいことが明確になった。
- ・新聞記事に則ったおもしろい講座だった。
- ・要点を少し捉えられたように思う。
- ・文章のまとめ方を教えてほしかった。
- ・大変ためになった。ただもう少し「ここでしか聞けない話」があればより良かったと思う。
- ・参考になる点がいくつかあった。掘り下げがうまくできていない気がする。グループに分けて、意見交換してグループの意見として発表するのも良かったのではないか。
- ・記事をまとめるワークがなかなか難しかった。情報発信したい人が多かったと思うので、短くても自己紹介があってもよかったかも。プロジェクターの文字がもう少し大きいと遠くからでも見やすかったかもしれない。マイクも。

● 「やや不満」と回答した理由。

- ・自分はどちらかというと Facebook で情報発信をしていきたいと思っていたので、文章の書き方については参考になったが、新聞的な部分の話が多かったので、ネットとはまた違うのかなと思った。
- ・自分の事前準備不足で、頭が切り替わっていかなかった。

8) 本日の講座を受けて、特に印象に残ったこと、今後に活かせそうなことがあれば教えてください。

- ・見出しについて意識したいと思う。
- ・見出しに気をつけて今後の発信活動を進めていこうと思う。
- ・見出しやテーマが文章のインパクトを決めること。
- ・見出しからぶれないというのがとても勉強になった。
- ・「見出し」を付けやすい文章というのが印象に残った。
- ・取捨選択、見出しが付けやすい文章を考えて。
- ・今までは伝えたいことを盛りだくさんにだらだらと書いてしまっていたが、きちんと伝えたいことがあるときは、「見出し」が付けやすい文章であることが大切なことがわかった。伝えたい視点を定め、何を一番伝えたいか考えていこうと思った。
- ・予定の5割増しを書いて削っていく。参考になった。
- ・5割増しにして書いて削る。
- ・10聞いて3書く、5割書いて削る。削るのが苦手な身にとって、記者さんも削るのに苦労なさっていることが励みになる。
- ・10のうち3つを伝える。

- ・伝わる文章構成とはどんなものか考える良い機会であった。
- ・色々な視点で活動している個人、グループを知った。

9) 新聞やその他メディアの今後のあり方について、ご意見があればご記入ください。

- ・記者の方の文章のまとめ方が素晴らしいなと思う。
- ・”紙をめくる”ということが少なくなりそうだが、紙とネットでは入ってくる情報量が違うと思うので、私は紙の方が好き。新聞もめくって楽しむ光景がいつまでも続くとよい。ありがとうございました。
- ・書いたもので伝えることを皆が経験していく必要がある。文章の要・不要を学べる。最近伝えるために書くことが少ないと思うので、皆が読むことだけでなく書くことにも慣れれば、新聞は続いていきそう。
- ・SNS への流用や若年層の目に付く良い記事があると良いなと思った。
- ・事件や出来事の本質がわかる報道を期待しているが、自分が関わっていることでも本質はほとんど伝わっていない。
- ・先ほどの話にもあったが、フェイクニュースや見出しと内容が違うととてもがっかりする。正確な情報をわかりやすく伝えてほしい。ネットのニュースもいいが、新聞の記事がスマホやタブレットで読めると良い。
- ・ジャーナリスト精神について、どう考えるか聞きたかった。
- ・宮坂さん、受講生の話を腰低く聞いてくれて感動した。いいひと感にあふれている。

以上